NIE実践報告

1．タイトル：**☆新聞の紙面構成を知り、二つの記事を比べよう**

2．学校名

大阪府私立清風中学校

3．実践者名（代表者名）

立石修一

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科　370人

6．単元（本時の学習課題）名

二つの記事を比較しよう

7．目標(狙い)

新聞記事を読み比べ、特徴を掴む方法を身につける。
新聞の紙面構成を理解し、新聞には編集意図があることを理解する。

8．評価の視点

見出し、リード文、本文、写真の役割を理解させる。
観点ごとに二つの記事を比べさせ、共通点や相違点、編集意図について考えさせる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

メディア社会を生きる　水越伸(国語3時間)
新聞の特徴を理解する(国語8時間)光村図書

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「メディア社会を生きる」(水越伸)を読み、メディアの特質について理解するとともに、メディアの情報は作り手の意図によって編集されていることを理解する。
②教科書「二つの記事を比べてみよう」を読み、どの点に留意して比較するかを学ぶ。
②五大紙（朝日・産経・日経・毎日・読売）を各クラスに配布、班ごとに同じ事象を扱った記事を選ばせ、比較させる。
③比較したことを、班ごとに発表し、二つの記事の違いがしっかり読み取れているか、クラス全体で話し合わせる。
留意点
・新聞記事は自由に選ばせ、教科書の表(見出し・リード文・本文・写真)にしたがってまとめさせる。
・まとめた表は、新聞記事とともに生徒全員に配布し、班の報告でいいのかどうか話し合わせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

しっかり読んで、記事を比較しているが、生徒の報告は「似たような文章だ」「同じように書いている」と報告しているケースが多い。二つの新聞記事の微妙な違い（編集意図の違い）をしっかり把握するのはなかなか難しいようだった。生徒は、新聞記者や新聞社による編集意図というものがあることに気づいたように思う。

12．成果と課題

普段あまり新聞を読んでいない生徒たちだが、今回の実践で、新聞にかなり興味を持ち、新聞の特徴、情報には発信者の意図があることに気づいたようである。ただ、国語の授業時間を使ったので、班の中での話し合いに充分時間がとれず、班によっては班長まかせになったり、中途半端な報告になったりしたことは反省点である。